

## 【日本】「特許庁ステータスレポート 2025」が公表されました

特許庁ステータスレポートは、特許庁の統計情報及び政策の成果をいち早く発信する、年次報告書の速報版として作成されています。

特許庁ステータスレポート 2025 から、以下の項目について簡単に説明します。

### 1. 特許出願件数

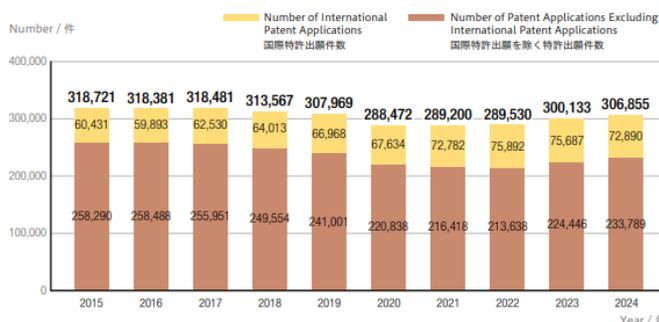
2024 年の、特許庁への特許出願件数<sup>\*1</sup>は 306,855 件で、2023 年の 300,133 件から 6,722 件増となりました。このうち、国際特許出願件数<sup>\*2</sup>は 72,890 件で、2023 年の 75,687 件を 2,797 件下回りました。国際特許出願を除く、特許出願の件数は近年減少傾向にありましたが、2024 年は 2023 年に続いて前年を上回りました。

日本国特許庁を受理官庁とした PCT 国際出願の件数は、過去最高を記録した 2019 年の 51,652 件から漸減傾向にあり、2024 年は 46,751 件でした。

<sup>\*1</sup> 特許出願件数は、特許権の存続期間の延長登録の出願を含みます。

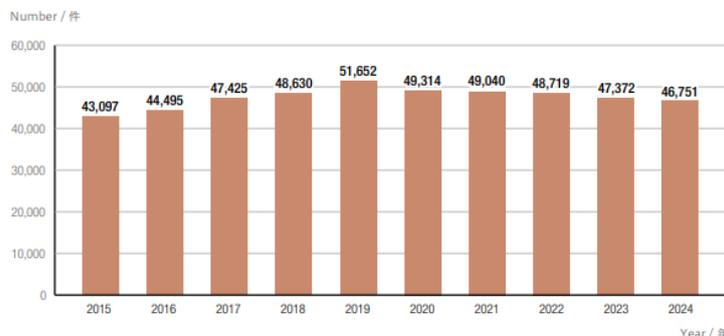
<sup>\*2</sup> 国際特許出願とは、特許協力条約に基づく国際出願であって指定国に日本国を含み、かつ日本国特許庁に国内書面が提出された特許出願です。件数は、国内書面の提出の日を基準にカウントします。

### 特許出願件数



出典：ステータスレポート;14 頁 図 1-1-1

### PCT 国際出願件数



出典：特許庁ステータスレポート;20 頁、図 1-1-11

## 2. 一次審査通知（First Action）までの期間（FA 期間）と権利化までの期間

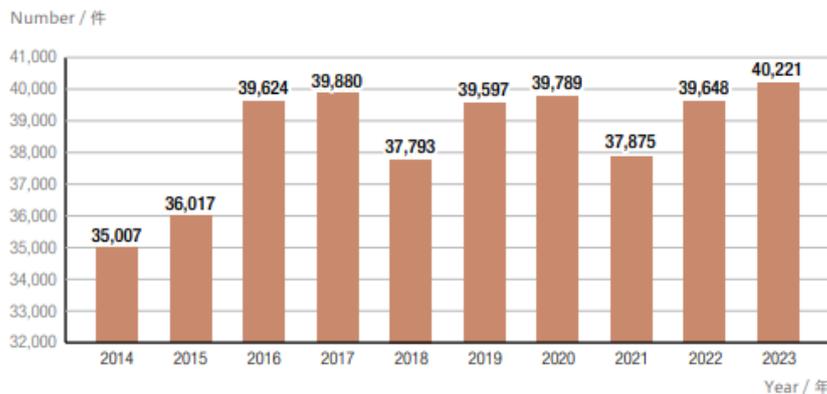
2024 年度の FA 期間<sup>\*3</sup> は平均 9.4 か月と、2023 年の 10.0 か月より早くなり、更に感染症拡大前の基準（2019 年の 9.5 か月）よりも早くなりました。権利化までの期間<sup>\*4</sup> も 2023 年の 14.7 か月から 13.8 か月に短縮され、感染症拡大前の基準（2019 年の 14.3 か月）よりも早くなりました。



出典：特許庁ステータスレポート;51 頁、図 2-1-1

## 3. 日本の中小企業の特許出願件数

中小企業の特許出願件数は、2022 年、2023 年と連続で増加し、2023 年は過去最高の 40,221 件となりました。特許庁は INPIT（独立行政法人工業所有権情報・研修館）と共同で中小企業に様々な援助を行っています。



出典：特許庁ステータスレポート;19 頁、図 1-1-8

特許庁ステータスレポート 2024 の日本語・英語併記版及び英語版はそれぞれ下記の URL からご覧いただけます。

日本語・英語併記版

<https://www.jpo.go.jp/resources/report/statusreport/2025/matome.html>

英語版

<https://www.jpo.go.jp/e/resources/report/statusreport/2025/index.html>